

B型慢性肝炎や各種の 難病克服に期待される

バイオ エクスジー

BIO XG-310

＜椎茸菌糸体・コフキサルノコシカケ・乳酸菌・γ-リノレン酸含有＞



現代医学界はかつて、「ガンは20世紀中に克服できる課題」としていました。現実には、21世紀の今日、ガンの克服は現代医学の化学療法だけでは不可能、との見方が一般約となり、「代替医学によるガン克服」という新しい道が造られました。

その代表的なものの一つに中国の漢方薬や、インドのアーユルベータなどがありますが、私達日本人が飲んでいる緑茶やドクダミ茶、そして、肝臓疾患にはシジミエキス、高血圧に根昆布などなど、先人達から受けつがれている、つまり世界中の民族がそれぞれに持っている民間療法はすべて代替療法に入ります。

ただ、これらの多くは、人工的に病気にさせた実験動物を使ったデータはいくつかあるものの、人間の体の中で、長期の間に徐々に悪化した腫瘍や慢性疾患などに対して、長期にわたって科学的に得た臨床データが少ないという点、化学薬品主流の現代医学に受け入れられなかった理由です。

ここで紹介するBIO XG 310(バイオ エクスジー・310)も、体験談による治癒例はたく

さんあるのですが、臨床医師による医学的な臨床データ集めは、現在進行中というところです。

ただ少ないながらも、集められたBIO XG 310の臨床データは、現代医学では治療法が確立していないB型慢性肝炎で悩んでいる人、あるいはその危険性の高い人には、とくに有効な情報ではないかと考えられます。

結論から言えば、BIO XG 310は、これまで漢方薬的、あるいは民間薬、そして食品などとして食べってきた椎茸の、菌糸体を高度な発酵技術を用いて、より高い免疫賦活力を持たせた発酵末を主原料にした健康食品で、したがってこれを食べることで低下した自分の免疫力を高め、ガンや肺炎などに打ち克つ体づくりに力のある食品です。さっそくその実践結果をみてみましょう。



神津健一さん

B型慢性肝炎に 著効の兆しが

神津健一さん 細胞栄養学総合研究所所長 は、細胞栄養学の専門家で、大豆レシチンによるEQ、心の知能指数 研究では、日本人としてはバイオニア的存致の人ですが、次に紹介するBIO XG 310の体験談は、神津夫人さゆりさん(30歳)のケースです。

神津さんは、さゆりさんの代弁者として、次のような談話を本誌に寄せています。

「3年ほど前、私自身が急逝のB型肝炎で緊急入院したのですが、私は人一倍品行方正ですが、家庭外での感染は考えられませんでした。

B型肝炎は主に性交渉が、血液感染ですから、となると妻以外に原因は見当たりません。

妻は以前看護婦をしていたので、たぶん院内感染していたものと思われまます。急性肝炎と異なり、慢性肝炎のキャリアは、B型、C型いずれもそうとうに病状が悪化しないと自覚症状が出ないので、妻も自分が罹

神津さゆり 昭和45年 8 月 8 日 生 血液検査結果 (病名: B型慢性肝炎)													
	正 常 値	聖路加 病院	桜上水医院		聖路加 病院	上 海 医 大			弘 邦 医 院				
		99. 9.2	99. 9.17	99. 9.30	00. 3.22	00. 6.5	00. 7.14	00. 8.16	00. 10.26	00. 11.25	00. 12.20	01. 1.17	01. 3.13
T P	(6.5-8.0)	7.7	7.5	7.6	7.1	/	/	/	/	/	/	/	/
T B i l	(0.2-1.2)	1.2	/	0.9	0.5	/	/	/	/	/	/	/	/
T T T	(0-4)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Z T T	(4-14)	19.6	16.6	/	16.2	/	/	/	/	/	/	/	/
C H O	(140-250)	/	159	153	142	/	/	/	/	/	/	/	/
T G	(50-150)	/	116	/	115	/	/	/	/	/	/	/	/
A L P	(58-200)	227	161	213	353	/	/	/	/	/	/	/	/
L D H	(150-400)	262	/	216	239	203	216	120	331	332	272	272	293
G O T	(9-32)	188	78	59	64	80	38	26	21	21	19	21	19
G P T	(3-38)	443	92	81	32	135	32	25	23	23	20	23	27
γG T P	(F/5-45)	113	56	86	74	159	60	47	48	42	40	37	35
治療方法			点滴実施										
備 考		Lecithin, Multi-Vitamin, Peptide, Zinc, Selen, 漢方薬摂取				Bio XG-310摂取開始～							

病しているとは思ってませんでした。すぐに検査をさせたところ、B型慢性肝炎と判明しました。妻の兄が医者をしているので中国に行かせ、漢方薬を中心に治療したので、それ以上の悪化はないままに推移しました。

ところが、2年前に長男を出産し、産後1年くらい過ぎたとき、極度の疲労など体調不良を訴えたので、'99年9月2日に聖路加国際病院で血液検査をさせました。数値は別表を見てください。

担当医は、すぐに入院しないと危険だといいましたが、1歳の息子の世話をしてくれる人がいなかったら、入院ではなく、毎日点滴に通うことで、了解を得ました。

私も、点滴だけでは不安でしたが、大豆レシチンやマルチビタミン、亜鉛、セレンなどいろいろな健康食品を食べさせました。さらに上海にいる、名医といわれる漢方医のところにも行かせて、漢方薬の処方もしてもらいました。

しかし昨年7月までの数値は別表の通り“高値安定”で回復の兆しは見えませんでした。

幼児をかかえた妻の不安は次第に高まり、私も必死で肝炎に効くものを探しました。そして昨年6月に、私の友人でもある中央サイエンスの福島重雄社長からBIO XG 310を薦められ、妻に飲ませました。結果は別表の通り、飲みはじめた約20日目の検査では、G T O 80 38に、G P T 135 32、G T P 159 60、と劇的に下がり、以後毎月の検査で数値は確実に下がり、今年に入ってからすべてが正常値で安定しています。

いまでは妻の不安もすっかり解消し、私もひと安心です。神津さんも一時はは幼い子供を残して妻に先立たれた自分の姿を想像して、背筋が寒くなったこともあると語っていました。

紙数の都合で今回は、体験談は1名ですが、神津さんの話にも登場した中央サイエンス(株)の福島社長の方には、さゆりさんのような成功報告がたくさん届いています。

BIO XG-310
に期待する医師

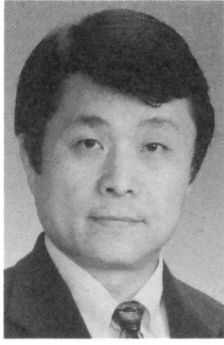
さて、慢性肝炎の場合、血液の数

値が正常値になっても、肝機能がすっかり回復したとは言いきれませんが、その点、さゆりさんの現在の主治医である、弘邦医院の林元督（はやしまさゆき）医師は、

「B型慢性肝炎のウイルスに対する免疫抗体HBS抗体や、HBe抗体が陽性にならないと、完治したとは言えませんが、神津さゆりさんの場合は、HBe抗体は陽性ですから、医学的には沈静化しつつあると言えます。」

HBS抗体が陽性になるのも時間の問題ではないでしょうか」と、本誌の問い合わせにコメントしています。さらにBIO XG 310についても、

「私がこれまで輪唱した患者さんは、C型肝炎3人、大腸ガン2人でデータとしては不十分ですが、治療法が確立されていない現状においてBIO XG 310を医療に併用



林 督元医師

することは、有効だとの感触を得ていません。今後、リウマチとは膠原病などへの臨床を広めたいと考えています。というのも、BIO XG 310で免疫力が高まれば、薬の効かない疾病でも治る可能性は高まりますからね。」

とも、語ります。また、BIO XG 310の免疫賦活に関する検定試験の1例に、原宿クリニックの斎藤辰二院長が行った「培養ヒト白血球細胞に対する増殖抑制効果検定」があります。

検定方法など詳しい内容は割愛しますが、BIO XG 310（カプセル）の水溶性成分を、白血球細胞に0.25ml加えた群では50%以上、0.5ml加えた群では70%以上、1ml加えた群では90%以上、増殖を抑制したと報告しています。

細胞数は、培養4日から6日にかけて明らかに減少しているところから、BIO XG 310の水溶性成分には、培養ヒト白血球細胞を抑制する因子があり、このことから、同溶液には抗ヒト白血球成分が含まれていると考えられる、と、斎藤院長は報告書に明記しています。

免疫力を高めて難病の克服を助ける食品

それでは最後に、BIO XG 310の中身について、簡単に紹介しましょう。

まず、BIO XG 310の主成分は「シイタケ大豆発酵液」です。

これは「中国・北京栄養源研究所」（中国政府公認の半官半民の研究機関）が11年の歳月をかけて開発したシイタケの菌子体を大豆を使って培養・発酵したもので、これに、漢方では抗ガンキノコ「優等生」と評価されている天然物の「茯苓」（コフキサルノコシカケ）の子実体と、熱や酸、酵素に強い有胞子乳酸菌の「ラクリス菌」、そしてコレステロールを低下させる作用のある、リノレン酸を加えてあります。

東京薬科大学名誉教授でキノコ研



志田信男先生

究家でもある志田信夫先生は、BIO XG 310について、「菌食は、腸内の善玉菌を増やして腸内環境の改善に役立ち、免疫やホメオスタシス機能を高めます。BIO XG 310は菌糸、乳酸菌など複数の成分が相乗的に働いて、免疫やホメオスタシスを高めることができるでしょう。」

と、考察しています。これまでは、現代医学に見放されると、なすすべがなかった疫病でも、BIO XG 310などのように、食品で免疫力を高めることで改善・完治の可能性のあることが、代替医学の分野でどんどん解明されてくることでしょう。

BIO XG 310はその先頭を歩む健康食品なのかもしれません。

取材協力

・中央サイエンス㈱

〒160-0022 東京都新宿区新宿1の11の13 慶應堂御苑ビル3F

電話 03 25569 3011

・細胞栄養学総合研究所

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ

谷5の21の6

電話 03 5269 6328